

キャラクター名
階堂 命 (かいどう ミコト)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー	ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	UGNエージェント
	ブラム=ストーカー				
オプション		年齢	すごい (らしい)	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	妄想	初期侵食率	35 %
出自	RB06 : 人類への興味	経験	RB社53 : 子宝	邂逅	RB93 : 好敵手

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	14
感覚	4	1	1			6	(非装備時)	14
精神	2	0	0			2	戦闘移動	19
社会	0	0	2			2	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	4		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1	1	調達	2	
運転:			芸術:			知識: 医学	1		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
造血剤	
ナイフ	
コネ: 情報収集チーム	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
《D: 起源種》	P 信頼	N 無関心		
階堂 仁 (実子?)	P 庇護	N 不安		
坂月 那岐	P 感服	N 偏愛		
プロスペクター	P 好奇心	N 不快感		
清隈 勇	P 好意	N 脅威		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	+5	常時					
効果: 衝動判定+[LV]d								
オリジン: ヒューマン	1	2	マイナー					
効果: エフェクトを使用した判定の達成値+LV								
コンセントレイト: ブラム=ストーカー	2	2	メジャー			シンドローム		
効果: C値-LV (下限7)								
滅びの一矢	1	2	メジャー			〈射撃〉		
効果: 判定ダイス+[LV+1]D、HP2点消費								
ブラッドボム	4	1	メジャー			シンドローム		
効果: ダメージを与えた場合、対象はさらに[LV-1]D点のHPを失う。その後、この方法で失わせたと等しい値のHPを失う								
血の宴	1	3	メジャー		範囲 (選択)	シンドロームLV/シナリオ		
効果: 「対象: 範囲 (選択)」に変更								
滅びの遺伝子	2	6	オート				1/シナリオ	
効果: 自分にダメージを与えた対象に[LV*10]点のHPダメージ								
かしく歯車	★							
効果:								
瀉血	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

UGN医療班"ホワイトハンド"に寄s...もとい居候しているレネゲイドビーイング。
ある日、血液サンプル保管室に居座っているところを"ホワイトハンド"職員に捕獲された。
曰く、「気がついたらここにいた、特にかつての記憶があったりはしない」「でも吸血鬼だったような気がする」。
他にアテもなく、特に目的があるわけでもないで(せいぜい人間観察くらい)
"自身を治療研究の機体として差し出す"ことを条件に"ホワイトハンド"に身を寄せることとなる。
特に治療に使える能力があるわけではなく、そのことを本人は不甲斐なく思っているようだ
...が、それを粉らわせるべく患者や職員と話をしている様子は「誘っている」と専らの評判。しかも同性ばかりを相手にしている。
ミコト本人からすれば暇つぶしやからかいも兼ねているようだが、どこまでが冗談でどこから本気なのかは彼女のみぞ知る。
そしてある日、いたたしてもないはずなのに身籠り、出産。レネゲイドのちからって すげー！
息子もRBであることは自覚しているが、能力を扱えるまでには至っていない。治療系らしく、"ホワイトハンド"で訓練中。

そんな彼女の能力は、言うなれば"血そのもの"。
彼女の血はそれ自身が意思を持つかのように動き、標的を捉え、そして"標的ごと散滅する"。
ただ、この能力は制御の自由が利かず"体内の血までもが一斉に散滅"するために彼女自身も無傷ではられない。
このため、彼女は有事に備えて予備の血(…もとい、造血剤)を常に持ち歩いている。
こと殺傷に関してはこれ以上ないほどに向いている能力ではあるが、その扱いの難しさゆえに彼女は戦いには消極的。
UGNもその意図を汲み、彼女に戦闘の任務を依頼することはあまりない(それ故に居候している、という話でもある)。

一裏を返せば。彼女を名指して呼ぶとき、それは彼女の"血"に頼るしかないときなのだ。彼女もそれをよく理解している。
彼女の往くところ、必ず赤に染まる